

作成: 芝崎

36. 一般篇 : おもしろい日本語(意異同音のケース)

- (1) 今年やっとインフルエンザ予防接種の注射をして、看護師さんから、本日の注意事項を聴く。  
 (看護師さん)今日はスポーツしない、風呂では注射したところを強くこすらない、最後にお酒はいっぱいで..  
 (私)いっぱい飲んでいいのですね。...お互い意味わかっていたので、微笑んだ。
- (2) 家内と今日の予定の話になり、  
 (家内)私は美容院(びょういん)、あなたは病院(びょういん) と言って笑う。
- (3) ちょっと寒くなってきたころ、友人とゴルフの練習していた時、急に彼がボソッと突然言った。  
 (友人)あたま叩いている!!  
 (私の対応)あたまてきたと聞こえてきた(私の早合点)ので、上着を脱いだら、彼が笑う。
- (4) 検査入院で地元のクリニックから、設備の揃っている大きな病院と窓口の医師(女性)を紹介された。  
 家内に珍しさから女性の医師を紹介された事を伝えた。実際に検査では、男性の医師が対応してくれた。  
 家に戻り、(家内)おんなじ医者だった?  
 (私)おんなの医者ではなかったよ。...会話の内容はあっているが...
- (5) サラリーマン時代、よく上司の部長が「彼はいつもいい加減な仕事だ。もっといい加減な仕事してほしい」と言っていたこと思い出した。  
 さらに、母が父の晩酌の為に御燗する時、やかんの沸騰したお湯にお鮎子を入れて、いい加減の温かさにしていた。父の笑顔を見て、満足していた様子がわかった。  
 私は電子レンジで対応しても調整の難しさを感じる。母に調整のポイントを聞いておくべきだったと今になってちよっぴりと後悔している。今年は母の7回忌。

笑いのポイント(笑点)

意(い)： 意味は全く

異(い)： 異なる文字だけれども

同(どう)： 同様な文字で示して

音(おん)： 音も同じような呼び方がいろいろある日本語、とてもその複雑さが面白いと思う。



以上